

公益社団法人ガールスカウト日本連盟

2023年度

事業計画



わたしが変わる。
未来が変わる。

girl scouts

2023年度 ガールスカウト日本連盟 事業計画

日本連盟 使命：

少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え、行動できる人となれるようにする。

ガールスカウト日本連盟 活動基本方針

ガールスカウトは

少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指し、

リーダーシップを発揮できる人材を育成するとともに、

社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動します。

ガールスカウトは、自らが行動していく運動です。日本では100年前から「自分で考え、行動できる女性」を育てるノンフォーマル教育に取り組んできました。ガールスカウトの少女たちは、人との関わりを通して、さまざまな役割と活動を経験していく中で、豊かな人間性を身につけていきます。そして、自分の人生を自分で切り拓く力をもった女性に育っています。

私たちのこれからの挑戦は「女性とその可能性を最大限に発揮できる社会環境をつくりあげていく」ことです。そのために、少女と女性の可能性を伸ばすことを妨げる問題に対して声をあげ、社会に変化をもたらす行動を積極的におこない、貢献していきます。

日本連盟 ビジョン2032

ガールスカウトは、「すべての少女と女性が自分らしく生きられる社会」を目指して行動する女性を育てる。

ビジョン2032の達成の妨げとなっている課題を次のように5つに絞りました。

1. ねばならない意識が強い
2. 現代社会において、少女・女性が必要とする教育を、年代に合わせて適切に（質・量）提供できていない
3. 組織の運営や情報活用の方法が時代に適していない
4. 運動の仲間の減少が続いている
5. 社会に対してのアピール度が低い

これらの課題を、次の2点の方法で解決することを目指します。

- 会員全員の力を合わせて取り組む
- 仕組みを検討する

特に2021～2023年の3年間は、以下のことに取り組みます。

- ・「やくそくとおきて」にある価値観をより共有し、活動に生かすことを目指す
- ・会員間のつながり・情報共有を強化し、さらに関わる人を増やすことで、活動の活性化を目指す
- ・ICT等の活用により、地域を超えて協力し合える仕組みづくりを目指す
- ・ICT等の活用により、事務的作業の効率化などを促進する
- ・現在進んでいる会員獲得や都道府県連盟運営の成功事例をマネ（模倣）する文化の醸成をはかり、国内外のガールスカウトの取り組み、他団体の事例からも学びを促進する

中期的には、システム変更も視野に入れ、ビジョンの実現に向けて、会員の力をより発揮できるよう検討を始めます。また、ガールスカウト運動が日本において持続可能になるために、日本連盟の運営方法・財政基盤の再構築のための検討を始めます。

2023年度事業計画

◆教育プログラム

事業名	期日・場所・内容など
SDGsへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ガールスカウト活動の全活動をSDGsと連動させて実施 ・SDGs バッジ取り組みの促進
SDG5*の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・GE（ジェンダー平等）バッジへの取り組み促進
	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーに関する調査の検討と実施
	Free Being Me (FBM**) 第2段階： <ul style="list-style-type: none"> ・「大好きなわたし」「行動編」プログラムの実施促進。パッケージプログラムの活用により、団での取り組み促進（少女会員対象プログラム及び入会促進のための体験プログラム、保護者対象プログラム） ・会員外を対象としたプログラムの実施（ダヴとの協働） Free Being Me (FBM**) 第3段階：プログラムに反映、実施
コミュニティアクション チャレンジ100 (CAC100) アワード	応募期間：11月1日（水）～2024年3月31日（日） 最終審査：7月（予定） 表彰式：10月22日（日）※ガールズメッセで実施
STEM教育への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・Chip Camp in 広島（シニア部門対象） 期日：3月31日（金）～4月2日（日） 会場：国立江田島青少年交流の家 マイクロンメモリ ジャパン(株)広島工場／広島開発センター
	<ul style="list-style-type: none"> ・Chip Camp in 東京（シニア部門対象） 期日：12月26日（火）～12月28日（木） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（予定）
	<ul style="list-style-type: none"> ・STEMバッジプログラムの開発
	<ul style="list-style-type: none"> ・Girls Going tech（ジュニア部門対象） 期日：7月 会場：広島（予定） 期日：8月 会場：東京（予定） 期日：2024年3月 会場：奈良（予定）

年少部門対象事業	防災科学技術研究所との協働事業の実施
	リーダーミーティング（年少部門リーダー対象） 期日：4月22日（土）午前、9月8日（金）夜間、 2024年1月28日（日）午後 会場；オンライン
地区シニア部門事業	テーマ：自分のからだを知ろう、守ろう 1地区に対し、50,000円を助成
レンジャーキャンプ	期日：8月11日（金・祝）～8月15日（火） 会場：戸隠ガールスカウトセンター
デザイン思考トレーニング （年長部門対象）	テーマ：デザイン思考（予定） 期日：2024年1月、2月（予定） 会場：複数回予定
ガールズメッセ	期日：10月22日（日） 会場：東京ウィメンズプラザ
B-Pアワード	応募締切：5月31日（水） 表彰式：10月22日（日） ※ガールズメッセで実施
ガールスカウトカフェ	期日：6月10日（土）、9月23日（土・祝）、 12月3日（日）、2024年3月2日（土） 会場：オンライン
国際理解支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・海外研修渡航費補助：総額100万円 ・海外連盟プログラム紹介
Greener×Greener II	環境プログラムの取り組みとして、年間・全国国内の活動推進
防災・減災教育	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マイスターアクティビティ集を活用した団でのプログラムの促進 ・体験活動、一般を対象としたプログラムの実施 ・防災科学技術研究所との協働事業の実施
ワールドシンキングデイ	2024年2月22日（木） <ul style="list-style-type: none"> ・全国 ・テーマ：私たちの世界、私たちの発展する未来 ～環境問題と世界の貧困～
戸隠ガールスカウトセンターを活用した教育の実践	期日：4月29日（土・祝）～11月6日（月） 会場：戸隠ガールスカウトセンター
教材等の出版・販売	年間
教育・指導者委員会	年間
SDG5推進委員会	年間

教育プログラム・指導者養成制度作成チーム	年間
----------------------	----

注)

SDG5* : SDGs目標5「ジェンダーの平等を実現しよう」に向けて、(ジェンダー平等バッジ、FBM大好きなわたしバッジ、FBM行動編バッジ)の取り組み促進をおこなう。

FBM** : ガールガイド・ガールスカウト世界連盟とパーソナルケアブランドのダヴが協働で作成したプログラム。自己肯定感を高めるとともに、社会の問題に目を向け、変化をもたらすための行動をとれるようになることを目指す。

◆成人のトレーニング

事業名	期日・場所・内容など
トレーナー対象のトレーニング	<p>トレーナーセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸隠ガールスカウトセンター会場 テーマ：問いのデザイン ～ファシリテーション～ 期日：9月16日(土)～9月18日(月・祝) ・オンライン テーマ①：組織マネジメント(予定) 期日：10月20日(金)、10月21日(土) テーマ②：アドボカシー理解編(予定) 期日：11月23日(木・祝)、11月24日(金) テーマ③：ワールドシンキングデイ2024 期日：12月22日(金)、12月23日(土)(2回) テーマ④：アドボカシー支援編(予定) 期日：2024年1月26日(金)、1月27日(土) (2回)
	トレーナーの単元 I (オンライン・eラーニング)
GEリーダー育成研修	<p>期日：6月30日(金)、11月11日(土)、 2024年3月10日(土) 会場：オンライン</p>
GEキャラバン(実践的指導者研修)	<p>期日：9月20日(土)～10月1日(日)および 2024年2月3日(土)～2月4日(日) 会場：未定</p>
GEアンバサダーミーティング	<p>対象：GEアンバサダー 期日：10月7日(土) 会場：オンライン</p>
GEミーティング	<p>対象：GEアンバサダー、GEリーダー 期日：11月25日(土)</p>

	会場：オンライン
指導者研修	テーマ：組織マネジメント 期日：6月24日（土） 会場：オンライン その他、複数回開催（予定）
デザイン思考トレーニング	テーマ：デザイン思考（予定） 期日：9月8日（金）～9月10日（日） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 対象：ユース年代
ガールスカウトトレイナー認定講習会・審査会	期日：2024年2月11日（日・祝）～2月12日（月・振） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（予定）
プログラムトレイナー認定審査会	期日：2024年2月10日（土） 会場：オンライン
トレイナー養成・育成勉強会	期日：8月26日（土） 会場：オンライン
海外研修本部派遣	・WAGGGSプログラム（ヘレン・ストロー セミナー等）等へ成人派遣 ・世界会議へのオブザーバー派遣
リーダーへの支援	・教材開発 ・ホームページ充実
リーダー養成講習の開催	全国
リーダー養成講習・指導者研修指導者派遣	随時
トレイナーへの支援	・トレイナー用ウェブページの運営 ・トレイナー情報共有プラットフォーム Slack の運営
成人トレーニング委員会	年間
教育プログラム・指導者養成制度作成チーム	年間

◆組織と運営

事業名	期日・場所・内容など
連盟長会議	期日：6月18日（日） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

新任連盟長研修	期日：6月17日（土） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
役職別情報交換会	期日：9月10日（日） 会場：オンライン
連盟運営者会議	期日：11月18日（土）～11月19日（日） 会場：オンライン
連盟長連絡会	期日：2024年2月23日（金・祝） 会場：オンライン
団委員長向けカフェ	期日：9月23日（土・祝） 会場：オンライン
都道府県連盟支援	随時（団支援について、県連盟運営について、オンライン活用支援）
広報研修	期日：7月1日（土）、10月、2024年1月 会場：オンライン
『Girl Scouts' News』	vol.15～vol.18 発行 全会員対象 データ配信（年4回）
顧問会	期日：未定 会場：ガールスカウト会館（オンライン開催の場合あり）
評議員会	期日：12月（予定） 会場：ガールスカウト会館（オンライン開催の場合あり）
フレンズ オブ ザ ボード	期日：未定 会場：ガールスカウト会館（オンライン開催の場合あり）
理事会・理事連絡会	理事会（年6回）／理事連絡会（年6回） 会場：ガールスカウト会館（オンライン開催の場合あり）
理事研修	第1回 期日：6月17日（土） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 第2回 期日：9月 会場：戸隠ガールスカウトセンターまたはガールスカウト会館（オンライン開催の場合あり）
監査	期日：5月6日（土） 会場：ガールスカウト会館（オンライン開催の場合あり）

第95回定時総会	期日：5月27日（土） 会場：オンライン
第38回世界会議代表派遣	期日：7月26日（水）～7月31日（月） 会場：キプロス
地域支援事業	年間 ・ガールスカウト運動を推進する事業
組織・運営アドバイザーグループ	年間
戦略委員会 新しいガールスカウト活動のあり方を考える会	年間
戦略委員会 組織財政中長期戦略検討委員会	年間
事務局の強化	年間

◆会員

事業名	期日・場所・内容など
入会促進事業（全国一斉事業）	おやこでチャレンジ（秋入会促進事業） ・9月～12月
	春の体験集会（春入会促進事業） ・2月～4月
	ガールスカウトの日（春・夏入会促進事業） ・5月
	「お外でリアル体験!『そとチャレラリー2023』」の活用
会員活動活性化プロジェクト	・首都圏サポート、近畿圏サポート ・会員増のための調査についての検討 ・会員活動を活性化するための取組み
会員会費助成	児童養護施設在籍の少女会員および被災会員***への会費助成
会員継続の支援	年間（大学進学のための推薦書発行含む）
会員登録	年間（特別個人会員****の登録を含む）

会員データベースの活用	年間
表彰	功労章、永続奉仕章、団永続章、ガールスカウト活動賞、感謝状等
会員委員会	年間

注)

被災会員***：激甚災害による被災会員

特別個人会員****：日本連盟直接登録の成人会員

◆社会との関係

事業名	期日・場所・内容など
社会への発信のための全国活動	5月22日（月）：ガールスカウトの日（全国一斉で実施）
	10月11日（水）：国際ガールズ・デー（ガールズメッセ（10月22日（日））として開催）
	11月：「女性に対する暴力をなくす運動」パープルライトアップ
	2024年2月22日（木）：ワールドシンキングデイ
	2024年3月8日（金）：国際女性デー
	2024年3月11日（月）：KIZUNA Day
ジェンダー平等を実現するための社会への働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー平等のための教育プログラムの普及 ・SNS等での発信
ガールスカウトのPR	<ul style="list-style-type: none"> ・広報資料の作成と配布 ・ホームページ、SNS等の運営
他団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・大学等でのSDG5関連プログラムを活用した出前授業の実施 ・デートDV防止全国ネットワークとの連携 ・ジョイセフ（少女・女性の健康） ・ワコール「つぼみスクール」（少女・女性の健康） ・マイクロンテクノロジー（STEM） ・防災科学技術研究所（防災） ・（一社）あそび庁（体験活動） ・NTT東日本、公衆電話会（防災）

	<ul style="list-style-type: none"> ・日本損害保険協会「小学生の防災探検隊マップコンクール」（防災・防犯・交通安全） ・教育協力NGOネットワーク「SDG4教育キャンペーン」（アドボカシー） ・ケア・インターナショナル・ジャパン「Walk in Her Shoes」ジュニアアンバサダー（国際理解） ・内閣府国際交流事業への派遣への推薦（国際理解） ・（株）白鳩「マスクのプロが教えるマスク出張授業」（健康・安全） ・関係団体への役職員の派遣 ・他団体との連携関係を広める
調査	ジェンダーに関する調査
戦略コミュニケーション委員会・SNS運営チーム	年間
ガールスカウト推進議員連盟総会	未定

◆財政

事業名	期日・場所・内容など
ガールスカウト会館の運営	年間
戸隠ガールスカウトセンターの運営	春期利用：4月29日（土・祝）～7月7日（金）
	夏期利用：7月15日（土）～8月27日（日）
	秋期利用：9月1日（金）～11月6日（月）
助成金の獲得	年間
寄付金の拡大	一般寄付、マンスリー募金、賛助会費、賛助会員トレフォイル等寄付の募集（内外の新規寄付者の開拓）
寄付促進キャンペーンの実施	6月8日戸隠を想う日、10月トレフォイルの集い、9月遺贈寄付ウィーク、12月寄付月間、2月22日ワールドシンキングデイなど
グッズ販売事業	年間
賛助会員トレフォイルの集い	期日：9月30日（土）または11月25日（土） または12月2日（土）（予定） 会場：未定

予算委員会	11月 会場：ガールスカウト会館（オンライン開催の場合あり）
戦略委員会 組織財政中長期戦略検討委員会	年間
戸隠ガールスカウトセンター運営 検討チーム	年間
ファンドレイザーグループ	年間

ガールスカウト日本連盟制定の日

ガールスカウトの日	5月22日（1988年～） 第二次世界大戦の勃発により一時解散しましたが、終戦後、子ども達から喜びや笑顔がなくなってしまったことを憂い、日本女子補導団時代の関係者が1947年（昭和22年）の5月22日に集まってガールスカウト運動を再興すべく、ガールスカウト中央準備委員会を発足させました。この日を記念して5月22日を「ガールスカウトの日」としました。
戸隠を想う日	6月8日（2016年～） 1958年（昭和33年）6月8日に清水総主事・三角主事・洲崎キャンプ委員長（いずれも当時）が戸隠を視察し、キャンプ場の場所を決定する契機となったことから、6月8日を「戸隠を想う日」として制定しました。先人の想いをつなげ、戸隠ガールスカウトセンター維持のために、6月を戸隠募金推進月間とします。
KIZUNA Day	3月11日（2014年～） 東日本大震災の日（2011年（平成23年）3月11日）を、防災の意識や技術を高めるとともに、震災の記憶や復興への思いを風化させない日として、3月11日を「KIZUNA Day」に制定しました。

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 ビジョン (COMPASS2032)

「すべての少女が力強く生きる（成長する・発展する）ことができる平等な社会」

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 使命

「少女と若い女性が責任ある世界市民として、自らの可能性を最大限に伸ばせるようにする」

創始者ベーデン-ポウエル卿のことば

ガールスカウト運動の目的は
少女と若い女性を3つのHを持つ市民、すなわち
心身ともに健康 (Health) で、人に役立つこと (Helpfulness) に
幸せ (Happiness) を感じることができる市民に育てることである。



ガールスカウト日本連盟歴史的覚書

1920年、英国聖公会の宣教師で、東京の香蘭女学校に教師として赴任したミス・グリーンストリートが、英国で始まったばかりのこの運動を伝え、イギリス連盟の日本支部として活動が始まった。その後、全国の英国聖公会の教会や女学校を拠点にして活動が広まり、1923年に、ガールスカウト日本連盟の前身となる日本女子補導団となった。1928年ハンガリーで開催された第5回世界会議で、ガールガイド・ガールスカウト世界連盟の創設が決定し、日本女子補導団はその創設会員のひとつとなった。その後1939年まで世界連盟の会員であった。日本が第二次世界大戦へと進む中、この運動が国際間の友情をはぐくむことを目的の一つとしていたため解散を余儀なくされ、1942年に自ら解散することを決定した。

戦後1947年に、日本女子補導団当時のメンバーが、「日本の少女たちのための活動を」と再びこの運動を日本国内で始めるために集まり、GHQの支援も得て、アメリカ流の『ガールスカウト』という名称で再開し、ガール・スカウト日本連盟を結成した。1952年には文部省（現 文部科学省）の主管で社団法人ガール・スカウト日本連盟が発足した。

ガールガイド・ガールスカウト世界連盟へは、1952年1月に加盟申請を提出した。1952年8月、ノルウェーで開催された第14回世界会議で準加盟が認められ、1960年、ギリシャで開催された第17回世界会議で正加盟が認められた。

1966年、第19回世界会議が東京で開催された。

2012年、社団法人ガールスカウト日本連盟は、日本の法律改正により、公益社団法人ガールスカウト日本連盟へと移行した。

(ガールスカウト日本連盟 基本綱領 抜粋)